

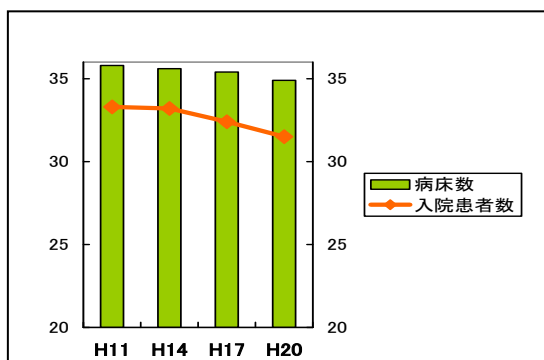
☆オレンジ通信☆

先日、みんなで取り組む精神科訪問看護セミナー(主催：社団法人日本精神科看護技術協会)に参加しました。

最近では、地域で生活出来るように様々なサポートがあります。当院では、デイケアや訪問看護が行なわれていますが、今回は訪問看護の動向について紹介します。

①精神科病床数及び入院患者の変化

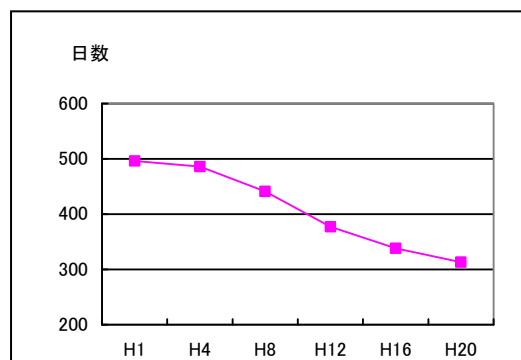
近年は、精神科の病床数を削減し、地域へ移行する動きがみられます。



資料：病床数—医療施設調査(10月1日)、
入院患者数—病院報告(10月の平均)

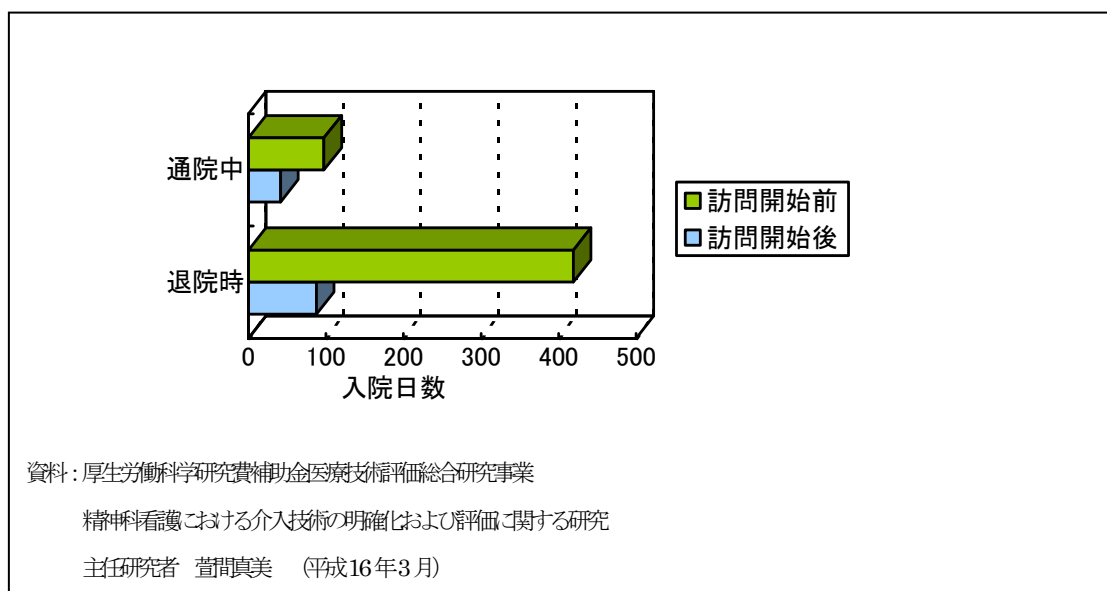
②精神科病床の平均在院日数の推移

平均在院日数とは、1人の患者が入院している日数の平均のことです。



資料：病院報告

このように、入院患者数と在院日数が減少してきています。その中でも、精神科訪問看護の効果として、入院期間の短縮が見られます。



資料：厚生労働科学研究費補助金医療支援評価総合研究事業

精神科看護における介入技術の明確化および評価に関する研究

主任研究者 萱間真美 (平成16年3月)

地域生活を支える社会資源の1つとして、精神科訪問看護が行う多職種（看護師・精神保健福祉士・作業療法士）による支援があります。

当院の訪問看護でも以下のような支援をしています。

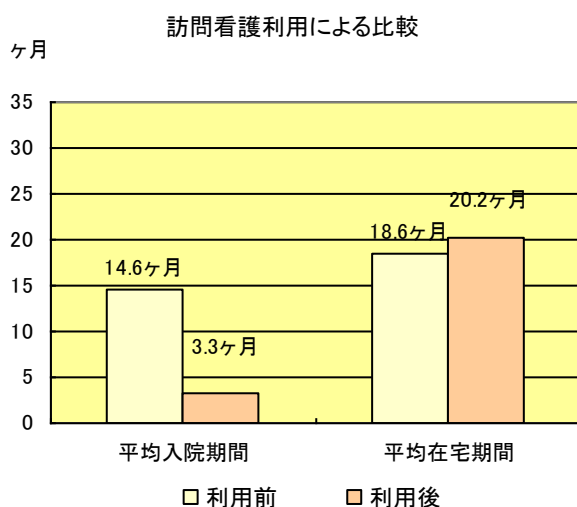
① 医療面での支援

- 精神的・身体的不調に対して早期対応やアドバイスをします。
- 再発の予防として、服薬管理や定期的な通院ができるように手伝いやアドバイスをします。
- 自宅で相談をすることができます。緊急時には電話での相談対応もしています。
- 医師、訪問スタッフとの連携により、その人の生活や状態に寄り添った治療を行うことができます。

② 福祉(生活等)での支援

- 家族調整や家族対応の仕方やアドバイスをします。
- 手帳や年金等の相談にも対応しています。
- ヘルパー等の社会資源の紹介やアドバイスをします。

当院の訪問看護の利用による平均入院期間と平均在宅期間は以下のような結果がでています。



このように地域や家庭で、患者様・ご家族様が安心して生活出来るよう当院の訪問看護でも支援させていただいています。

**訪問看護を希望される方は主治医または、
地域生活支援室スタッフまでお気軽にお尋ね下さい。**